

# ➤ 安全保障貿易管理の概要

- **軍事転用可能な貨物や技術**が、大量破壊兵器や通常兵器の開発・製造・使用・貯蔵を行っているような国に渡った場合、国際的な脅威となり、情勢が不安定化するおそれ。
- 軍事転用を防ぐために、**有志国が国際的に協調して輸出管理を推進**。
- 我が国は、外国為替及び外国貿易法（外為法）に基づき輸出管理を実施。



## 輸出管理の実施が不可欠

輸出される貨物や技術は、兵器として使われたり、その素材に利用される可能性があります。

それが兵器等を開発している**国家やテロリスト等の手に渡ると**国際平和を脅かし、日本だけでなく世界中の脅威となる可能性があります。

### Q. そもそも輸出管理とは？

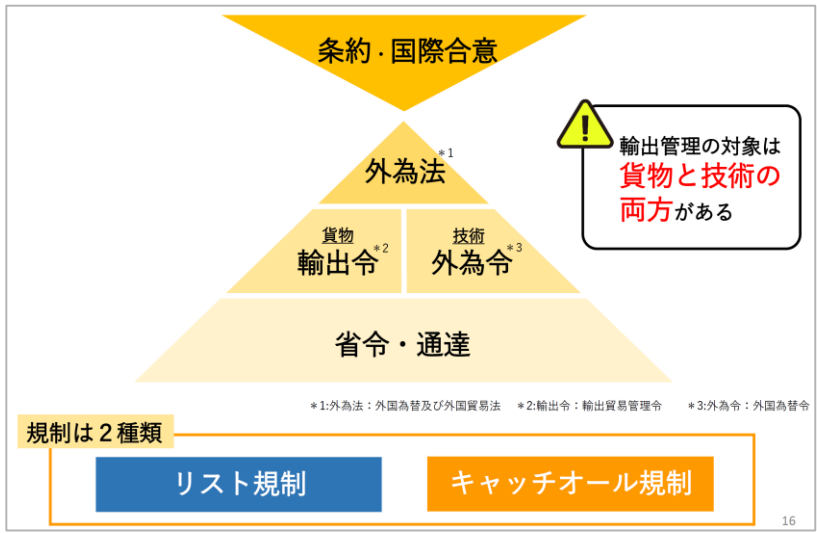
我が国を含む国際的な平和と安全の維持のために

武器や軍事転用可能な貨物や技術が兵器等<sup>\*1</sup>の開発等<sup>\*2</sup>を行っている国などに渡らないように管理すること

許可が必要な場合に許可を取らずに輸出等をした場合、**罪に問われる**ことがあります。

- ① **外為法上の罰則等**
- ② **社会的制裁等** のリスクがあります。

# ➤ 安全保障輸出管理制度の全体像

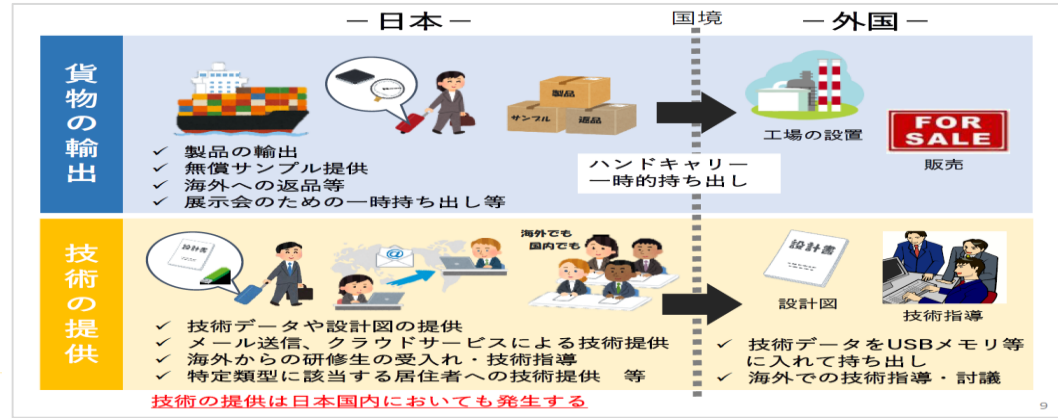


### (1) 貨物の輸出

貨物が日本の国境を超える場合は、すべて輸出となります。

### (2) 技術の提供

- ① 海外で技術を渡す場合（日本からのEメールや電話でも）
- ② 国内で非居住者又は特定類型に該当する居住者へ技術を渡す場合
- ③ 海外へ技術情報が記録されたUSBメモリ等を持ち出す場合



※技術の提供は国内でも発生するため注意が必要となります。

## ➤ 大学としての安全保障輸出管理

### ● 大学・研究機関にとっての「輸出管理」とは、

平和利用のための自由な研究環境を確保するための基盤として、研究成果や研究資機材が大量破壊兵器等の懸念活動に利用されないように「貨物の輸出」や「技術の提供」を管理すること。

※大学・研究機関では、技術提供の機会が多いため、「技術は一度提供されれば取り返しがつかない」との自覚を持ち、その管理には十分注意を払う必要がある。

これを遂行する手段として。。。

- ・ 留学生等の入口・中間・出口の各段階での管理
- ・ 外国出張、一時帰国時の対応
- ・ 外国法人等との共同研究の実施
- ・ 外国からの研究者の訪問、非公開の講演会、機器の使用

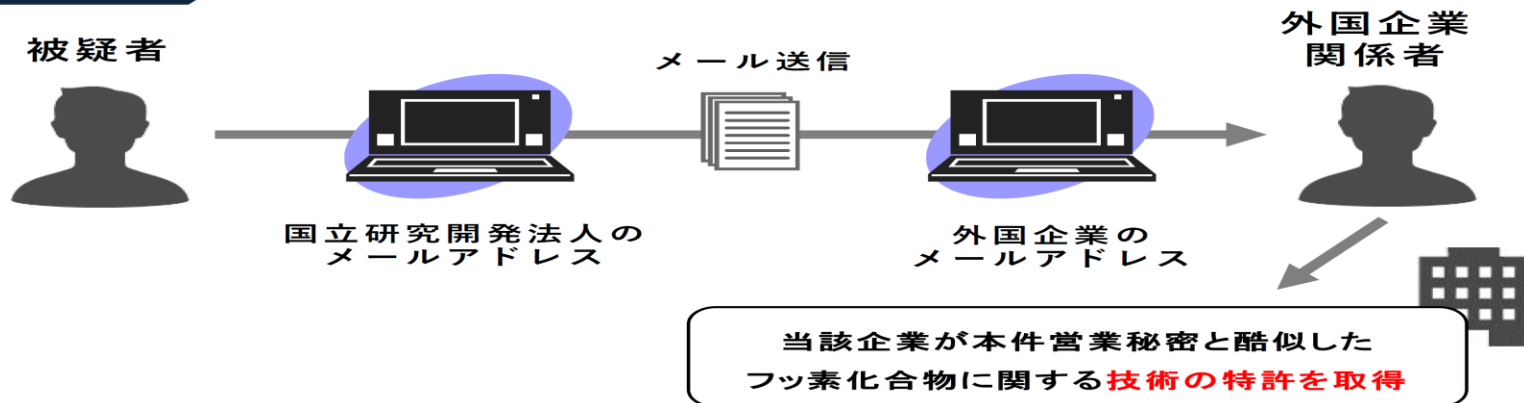
その実行のための規程制定・運用

関西医科大学 安全保障輸出管理規程

## 近年の違反事例①

- 国立研究開発法人の研究者が、同研究所の営業秘密である研究内容を外国企業に漏洩したとして不正競争防止法違反で逮捕
- 被疑者は、自身が研究している「フッ素化合物」に関する技術情報をメールで送信

### 事案の概要



## 近年の違反事例②

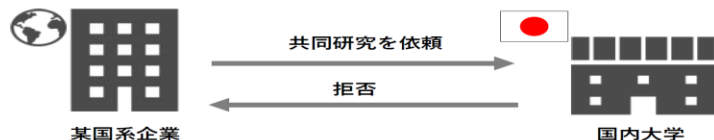
### 留学生の受入れ

- ✓ 国内大学への留学希望者の履歴書の経歴欄に空白があり、再記載を求めたところ、アルファベット4文字のみの略称を記載した。
- ✓ 詳細を聴取したところ、外国ユーザーリスト及び米国エンティティリストに掲載された企業での職歴を有することが判明した。



### 共同研究

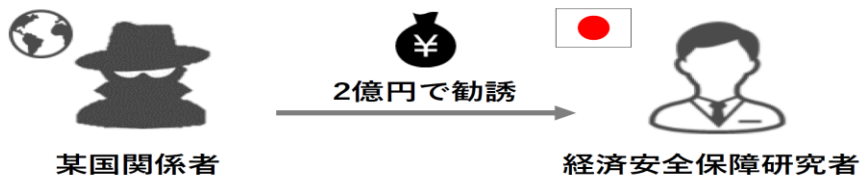
- ✓ 国内の大学では、大学主催のオンライン講演後、某国系企業から共同研究を持ち掛けられたが、断ったところ、今度は別の者から「ある人物からの依頼なので大学として検討してもらえないか」と言われ断固拒否した。



## ➤ 近年の違反事例③

### ヘッドハンティング

- ✓ 知的財産、ルール形成戦略分野の研究者は、某国からヘッドハンティングを受け、**年俸2億円を提示された。技術のみならず、経済安全保障に関する研究者も勧誘している。**



### 学術交流

- ✓ 某国の大学教員は、大学側から「他国のレベルの高い総合大学との**部局間交流の協定締結に向けて活動するように**」と指示を受けた。
- ✓ とりあえず**どの分野でも良いから協定を結び、それを大学間交流協定につなげて、某国側が得たい分野での交流を行う方向へ導く手法**である。



## ➤ 近年の違反事例④

### 講演

- ✓ 国内の大学教授は、**学会で知り合った外国ユーザーリスト掲載の大学教授から講演依頼を受けた。**教授は講義を希望したが、**輸出管理担当者から経済安全保障上の危険性について説得され、講義を諦めた。**



### 二重在籍

- ✓ 国内の大学の**外国人研究員が、母国に帰国してから戻らないことから調査を実施したところ、3年前に母国でハイレベル人材計画に入選し母国の研究所でも教授として稼働していることが判明した。**



実は母国で就職してた



# 関西医科大学における安全保障輸出管理体制

